

青森市
第3回

被爆ピアノ平和コンサート

第17回
ロサンゼルス
日本映画祭平和賞

第38回
日本
映画復興奨励賞

映画上映会

2024年 10月18日(金)

ねぶたの家ワ・ラッセ 2階イベントホール
(青森市安方1丁目1-1)

入場無料・先着優先・申し込み不要

17:00 開演

～ 18:00

被爆ピアノフリー演奏・見学など、
さわったり、弾いたり自由に！

18:00～20:00

『おかあさんの被爆ピアノ』

映画上映 (113分)

20:00～20:40

被爆ピアノ演奏など (ピアノ:黒瀧浩 他)



おかあさんの 被爆ピアノ

佐野史郎／武藤十夢 (元 AKB48) 監督：五藤利弘

原爆が投下された広島で奇跡的に焼け残った被爆ピアノ。
その音色を全国に届けている調律師 矢川光則さんの実話をもとに、佐野史郎さんと元 AKB48 の武藤十夢さんのダブル主演で描くヒューマンドラマ。

被爆ピアノコンサート

10月16日(水) 10月19日(土)

青森県庁玄関入り口
エントランス

青森ジョイフルチャペル
(青森市新田1丁目12-13)

12:00～13:00

13:00～14:00

両会場：被爆ピアノ演奏など (ピアノ:黒瀧浩 他)

入場無料・両会場ご自由にお聴きいただけます。



被爆ピアノとは

原爆投下時、1945年
8月6日広島、8月9
日長崎で爆心地より約
3km以内で原爆の爆
風、熱戦、放射能等
の被害を受けたピアノ
の事を指します。

主催：青森市「被爆ピアノ平和コンサート」実行委員会

お問い合わせ：青森市本町1-6-10 電話：080-3355-3890 メール：godlove1953@ybb.ne.jp

後援：青森市教育委員会 青森県教育委員会

映画
『おかあさんの被爆ピアノ』
あらすじ

昭和20年8月6日に広島で被爆したピアノを持ち主から託された調律師・矢川光則（佐野史郎）。彼自身も被爆二世。爆心地から3キロ以内で被爆したピアノは被爆ピアノと呼ばれる。矢川は、現在数台の被爆ピアノを託され修理・調律して、それを自ら運転する4トントラックに載せて全国を回る。
東京で生まれた江口菜々子（武藤十夢）は大学で幼児教育を学び幼稚園教師を目指しているものの将来について漠然としている。被爆ピアノの一台を母・久美子（森口瑠子）が寄贈していたことを知った菜々子は、被爆ピアノコンサートに行き、矢川と出会う。
矢川を通して被爆ピアノ、広島のことを考えるようになり、祖母のことを知るうちに自身のルーツを探していく。菜々子はルーツを辿り、被爆ピアノの活動を辿りながら次第に何かを見つけていく…
被爆ピアノにまつわる実際の話から着想を得たオリジナル映画を佐野史郎とAKB48の武藤十夢のダブル主演で制作。監督は五藤利弘。

被爆ピアノ平和コンサート出演者紹介



ピアニスト 黒瀧浩 (Hiroshi Kurotaki)

1968年青森市生まれ。青森高校、北海道教育大学卒業、ポーランド国立クラクフ音楽院研究科修了。ピアノを岡田照幸、イェジェウコヴィッチ両氏に師事。ハリーナ チェルニー＝ステファンスカの公開講座、自宅レッスン等に参加。

主にポーランド各地、ウクライナを中心に独奏、伴奏や室内楽演奏会。作編曲では日本歌謡で構成された2006年の作「対位法遊戯～日本の四季」が演奏会毎に好評。1997年来ニコライネトメルの作品を手がけ、好んで演奏会のプログラムに載せている。

横笛奏者 HIROMASA



1973年生まれ。青森県立弘前実業高校卒。元 NEC 相模原陸上部所属。引退後、座敷わらしの出る旅館「緑風荘」での不思議な体験や出会いをきっかけに横笛を始める。全国の神社仏閣での演奏を中心に、各地のイベントや介護施設等での演奏・結婚披露宴入場曲・葬儀など、幅広く活動している。

舞踏家 福士正一 (Fukushi Shoichi)



1953年青森市生まれ。オドラテク道路劇場主宰。元公務する舞踏家。国内外の市場や商店街、寺社や学校などで踊り続け今年50周年を迎える。異分野の表現者とも精力的に共演し、独特の踊りは親しみを込め正ちゃんダンスとも呼ばれる。1996年度青森県芸術文化奨励賞受賞。

過去の被爆ピアノコンサート写真館

2023年11月3日の第2回被爆ピアノ平和コンサートへのご協力誠にありがとうございました。



2022年10月17日 第1回被爆ピアノ平和コンサート

